

平成30年度事業報告書

当法人は、平成30年度の事業として掲げる、

- (1) 流しびな行事の実施に係る事業
- (2) 流しびな行事の文化を広く伝える施設「流しびなの館」の管理運営に係る事業
- (3) 観光客への土産物販売事業
- (4) 観光客の休息のための飲食店営業事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

に則り、諸事業を遂行すると共に、経費のより一層の削減と集客・収入増加へ向けて取り組んだ。

流しびなの館では、新暦3月3日の甘酒無料配布（約300人）を実施した。更にはマラニック大会、用瀬の月を愛でる会、用瀬町ふれあいまつり、流しびなの館で童謡をうたう会など、地域の行事に積極的に協力し、施設の有効利用に努めた。

また、特別展示として

4月 1日 ～ 4月30日（1/4から）桐塑人形作家「福岡正子」寄贈作品展

11月 1日 ～ 2月28日 「押絵の人形」特別展

を実施した。

更に、地元の常盤流しびなの会と連携して、流しびなづくり体験を通年実施し、旅行会社の利用もあって延べ9件、149名の利用があった。

入館者については8割方が県外客であり、3月には旅行会社から昼食を伴うツアーも企画実施されるなど、積極的に招客活動を実施した。

尚、平成30年度は記録的豪雨や度重なる台風の影響があり、若干ながら入館者は減少した。

観光物産センターにおいては、喫茶のメニューを工夫すると共に、ランチに工夫を重ねて内容をより充実させ、利用者に好評を得ている。また2階の和室を利用した食事や法事の会食や弁当等の利用も概ね良好に推移している。

また、観光バスの誘致をはかるための創作料理「雛ものがたり」は和室を使用して提供しているが、高齢者などの増加で椅子席の要望が高まっており、施設面で今後の課題となっている。

尚、全般的に原材料を効率よく使用した結果、収益率は大きく増加した。

尚、喫茶部門においては、原材料をなるべく地元産にして地産地消に心掛け、地元の人が安く安心して利用出来るよう取り組むと共に、衛生面においては職員の安全意識をより一層高め、食中毒等の防止並びに業務上の事故防止に万全を期している。

全体的には、ホームページを積極的に更新し、より充実・活用したことにより情報発信が高まり、問い合わせや予約等も多くなり、安定した集客となっている。

平成30年度流しびな行事 実施事業

平成30年度は4月18日の流しびな行事の実施と次年度へ向けたポスター・パンフレットの作成、配布と取りまとめ準備を行った。

(平成30年度の実施状況 30.4/18)

- 雛飾り公開（10:00～16:00）
町内の家庭で雛祭りの公開。（1軒） ●徳永家
- 流しびな製作実演（10:00～15:00）
流しびなの実演と体験。（2カ所） ●2区公民館 ●流しびなの館
- お茶席（10:00～16:00）
町内で抹茶の接待（有料）。（3カ所）
●観光物産センター ●松風（松島家） ●佐々木ギャラリー（佐々木家）
- 俳句会（10:00～16:00）
投稿箱の設置。（2カ所）
●用瀬郵便局前 ●流しびなの館前
- ひながたり（館）（10:30～11:45）
朗読会「雛がたり」を実施。
- ひな荒らし（5区公民館）（11:00～13:00）
子どもたちの「ひな荒らし」の様子を公開。
- 祈祷神事（ふれあいの水辺）（13:30～13:45）
- ひなのお焚き上げ（15:00～16:00）
祈祷神事と、古い雛人形に感謝の「お焚きあげ」神事を実施。
- ひな流し
市長・流しびなレディーによるひな流し（13:45～）
小学生（13:50～）
園児・幼子（着物で）（14:15～） 参加園児25人
体験希望者（11:00～14:00及び15:00以降）
- 流しびな（さん俵）の全戸配布
流しびなの伝承のため、用瀬地域の各家庭に全戸配布。（約300軒）

(平成30年度の実施状況 31.4/7準備)

流しびなポスター B1判（JR西日本各駅分）330枚、B2判550枚

当日パンフレット 6,500枚 印刷、各方面へ配布

平成30年度流しびなの館管理運営事業

○常設展示

用瀬ほか各地に伝わる流しびな

江戸時代から現代のひな人形と各種人形 約1,000体の展示

利用者数 11,025人

○特別展示

桐壱人形作家「福岡正子」寄贈作品展（1月4日～4月30日）

期間利用者数 2,902人（4/1～30迄）

「押絵の人形」特別展（11月1日～2月28日）

期間利用者数 1,725人

○利用促進事業

流しびなの製作体験事業の実施。

流しびな製作グループ「常盤流しびな」の指導により、紙雛とさん佻づくりの製作と「ひな流し体験」を実施した。

6月28日	京都市より	40人
8月13日	福岡県より	1人
8月16日	東京都より	2人
9月18日	島根県より	2人
10月30日	奈良県より	45人
11月4日	島根県より	17人
11月13日	大阪市より	33人
3月19日	八頭町より	2人
3月23日	鳥取市内より	7人

体験者 計149人

お雛さまエッセイ朗読会の実施。

朗読グループ「雛がたり実行委員会」と連携し、雛祭りにまつわるエッセイの朗読会「雛がたり」を実施した。

流しびなの館ふれあいホールの利用促進。

地元の文化団体等と連携し、主に下記の催しを実施した。

7月1日	鳥取ベンチャーズコンサート	参加者250人
9月23日	用瀬の月を愛でる会	参加者200人
10月22日	ふれあいまつり発表会	参加者100人（ラウンジ・ホール）
3月3日	流しびなの館で童謡を唄う会	参加者300人

平成30年度施設利用状況

平成30年度 総利用者数 (流しびな行事 30.4/18) (単位:人)

流しびなの館		観光物産センター	
展示室入館者	11,025	売店利用者数	18,742
ふれあいホール	1,245	喫茶利用者数	10,344
		休憩室利用者	1,245
小計	12,270	小計	30,331
利用者合計			42,601

業務別 内訳 ① 流しびなの館 (単位:人)

展示室入館者数内訳					
展示室入館者	有料入館者	無料入館者 中学生以下	無料入館者 障がい者等	無料入館者 要介護者等	無料入館者 その他
11,025	3,764	1,557	656	925	4,123
入館料					
912,207円					

② 観光物産センター (単位:円)

販 売					
受 託 商 品			買 取 商 品		
受託販売額	精算額	差引手数料	売上額	仕入額	差引収益額
2,197,765	1,559,323	638,442	113,150	53,107	60,043
		切手類取扱手数料 35,420			

喫 茶		
売上額	原材料費	差引収益額
11,854,565	4,167,477	7,687,088

創作料理「雑ものがたり」利用数 (単位:人)

4月	40	5月	7	6月	14	7月	108	8月	24	9月	54
10月	84	11月	177	12月	37	1月	14	2月	23	3月	258
										合計	840

③ 施設利用件数及び人数

流しびなの館ふれあいホール		観光物産センター休憩室		使用料
17件	1,245人	143件	1,951人	60,875円

会議並びに諸行事

1. 会 議

4月 9日	流しびな企画委員会	
5月10日	監 査 会	
5月17日	理 事 会	平成29年度事業報告並びに決算承認について
5月17日	定時評議員会	平成29年度事業報告並びに決算承認について
6月25日	流しびな実行委員会	反省会
8月 2日	流しびな企画委員会	
9月13日	流しびな企画委員会	
12月10日	流しびな企画委員会	
12月13日	理 事 会	事業団の運営について
12月17日	評議員会	事業団の運営について
1月28日	流しびな実行委員会	
3月24日	流しびな企画委員会	
3月28日	理 事 会	平成31年度事業計画並びに予算案について 流しびな行事について
3月31日	評議員会	平成31年度事業計画並びに予算案について 流しびな行事について

2. 各種会議・行事・研修その他

4月18日	流しびな行事	約5,000名
5月20日	マラニック大会	館・観光物産センター
6月12～15日	千代南中学校わくわく職場体験	中学生1名受入
7月 1日	鳥取ベンチャーズコンサート	ふれあいホール 250名
9月12日	職員消防訓練実施	
9月23日	用瀬の月を愛でる会	館・観光物産センター
10月20～21日	用瀬町ふれあいまつり発表会・中学校茶席	ふれあいホール・庭園
11月14日	職員健康検診	
3月 3日	流しびなの館で童謡を唄う会	
	甘酒の無料配布	約300名
3月 6日	職員消防訓練実施	
3月24日	町内一斉清掃・ふれあいの水辺清掃	理事・監事

3. 主な取材及び資料等提供先

- 平成30年4月11日京都放送4月18日8:10~7分か8分京都放送は今回2回目。
- 平成30年4月13日日本海テレビ生中継4時半~流しびなの館（雛ものがたり、流しびな製作体験中心）
- 平成30年4月9日BSフジ。流しびな行事当日、「ローカル線の旅」用瀬駅の撮影と流しびな行事の撮影をしないと。時間的にあえば前日のライトアップもと。
- 平成30年4月12日 雛まつり文化普及協会の清川紗衣（さえ）さん。行事当日に「全国のひなめぐり」の取材にくる。資料・写真
- 平成30年4月28日JR「別冊 旅の手帖 山陰」デスティネーションキャンペーン副読本 施設内観、施設外観の画像を送信。東京
- 平成30年5月15日 交通新聞社 カメラマン取材（雛人形と外観） 6月発行
- 平成30年5月24日東京本部からの仲立ちで、向笠千恵子氏（むかさちえこ）が流しびなの館へ来館。フードジャーナリスト、食文化建久か
- 平成30年6月以降。日本国外務省発行「にぽにか」NO.24雑誌「祭りと生きる」の中で「女の子の成長を願う祭り」を特集。
- 平成30年7月号。向笠千恵子氏 日本人形協会発行の雑誌7月号「にんぎょう日本」に「用瀬の流しびな」を投稿。
- 平成30年8月26日に向笠千恵子氏が日本人形協会の理事総会にて同氏が講演会。その時の為の講演内容に用瀬を取材。たにしなどの電話取材。
- 平成30年12月20日 女性セブン(小学館)山下和恵 流しびなのさん俵と紙雛の写真提供依頼。
- 平成30年12月25日 アミコデザイン株式会社(広島)子育て情報誌(ひな流しの写真を要請)
- 平成30年12月25日 るるぶ観光データベース送信(流しびな行事の紹介)
JTBパブリッシング業務委託ティー・エム・エス
- 平成31年1月10日月刊『遠州』という茶道雑誌を制作しているデナリパブリッシング株式会社 桑田。流しびな行事の写真をと。東京
- 平成31年1月10日株式会社少年写真新聞社
2月28日号小学図書館ニュース「日本各地の雛人形」 東京
- 平成31年1月11日株式会社ダナック。ダナックの取引業者の山陰総合リース株式会社お依頼。新聞と雑誌広告に現在「山陰の祭りシリーズ」として流しびな行事をとりあげたいと。
- 平成31年1月17日アミコデザイン発行の「エンジーナ」(子育て情報誌)の南さんより。流しびな行事と流しびなの館の両方をPR。 広島
- 平成31年1月18日 「環境ジャーナル」スペースアルトのえじまさん
流しびな行事の紹介 ホームページ画像4枚使用許可 広島
- 平成31年1月24日NHK関連業者エポックル株式会社 柘田
「チョコちゃんに叱られる」の番組で、動画(静止画)の依頼3月1日放映
- 平成31年1月26日株式会社(株式会社KADOKAWA グループ会社)
3月号掲載 「毎日が発見」の月刊誌(女性用)
- 平成31年2月7日全日空の広報担当が、流しびなの館のホームページの写真を、ANA総合研究所のホームページやSNSの写真に使用させてくださいと許可依頼があった。
- 平成31年2月8日 よしもと興行 放送日:2月15日(金) 12:00~ 【毎月第1・3金曜 12:00更新】よしもとのザ・プラン9 浅越ゴエと吉本新喜劇・西川忠志が関西の企業やスポット、習い事などに訪問し、見学、体験などを通してDEEP掘り下げるという番組。
- 平成31年2月28日山陰中央テレビさん俵づくり体験の取材。3月5日に二区公民館で取材。
- 平成31年2月28日 ホテル雅叙園東京3人来館

「百段雛まつり 山陰ひな紀行」2020年1月24日（金）～3月15日（日）

観覧会基本1名様1600円、前売り1200円、10：00～17：00 主催「百段まつり展」実行委員会

- 平成31年3月7日「協働組合インフォメーションテクノロジー関西」流しびな行事の記事依頼。
- 平成31年3月7日(株)メリット（島根県）タウン情報lazuda（ラズダ）に流しびな行事掲載依頼。
- 平成31年3月15日全国版ウォーカープラス(webサイト)に掲載予定。「もちがせ流しびな」を記事にと。札幌市中央区本社
- 平成31年3月15日
ぴよんぴよんネット 3月19日に常盤会取材。15日に事前取材流しびなの館
3月31日と4月1日の放送。
- 平成31年4月1日BSSラジオ、「午後はどきどき」、「こんにちは山陽さん」とBSSが山陽放送とのコラボ。